



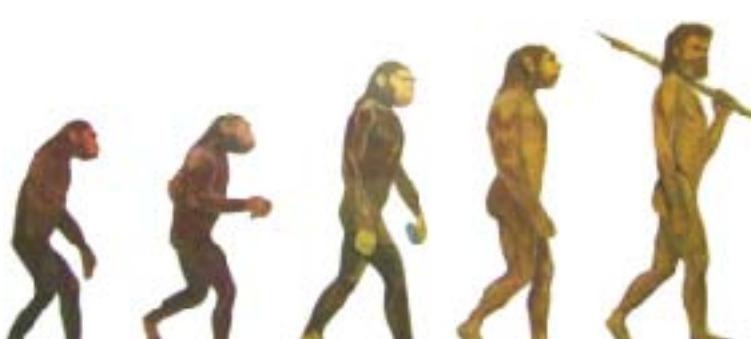
# 健康会だより

&lt;主旨と理念&gt;

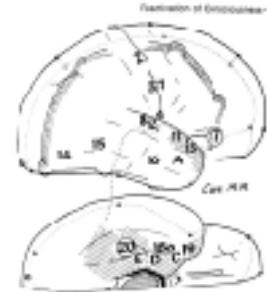
長谷部式健康会は『自分の健康は自分の努力で』をスローガンに健康普及活動をしている会です。健康は人生最高の宝です。世界人類の健康と平和に奉仕しましょう。『体質別』は健康を守る自然の法則です。

発行所 長谷部式健康会 総本部  
〒491-0905 愛知県一宮市平和1-2-13  
発行人 長谷部茂人  
発行部数 3000部  
tel 0586-46-1258  
fax 0586-46-0367  
E-mail kenko@world.interq.or.jp  
http://www.interq.or.jp/world/kenko/

## “心”は進化するのか？—心の所在地・動力源



↑  
体は環境要因によって変化したが、心はどのように変わったのか？



↑  
脳には目的によって作業領域が存在する。



←  
イギリスの自然探検家リチャード・アッテンボロー氏。小集団のサル種よりも大集団のサル種のほうが脳量が多いという。

↓  
ワイルダー・ペンフィールド氏によれば、心は脳の機能とは別のエネルギー源が存在するはずだと主張。(上下とも Wilder Penfield 著「The mystery of the mind」より引用)

Mind comes into action and goes out of action with the highest brain-mechanism, it is true. But the mind has energy. The form of that energy is different from that of neuronal potentials that travel the axonal pathways.

### 水浴びを好む犬、嫌う犬

犬好きな方はご存知かもしれないが、体を洗ってやると水をかけると、とても嫌がる犬とそうでない犬がいる。ゴールデン・レトリバーや盲導犬・介助犬としても知られるラブラドール・レトリバーのように、もともと水猟犬として飼育されてきた種は水遊びが大好きで、川で遊ばせるときなどは、立ち上がる水しぶきを口で捕らえるような仕草をして楽しそうにしている。

水が嫌だ！そして水遊びが楽しい！という仕草は、人間と同じ「嫌な気持ち」、「楽しい気持ち」で実際、犬たちもいるに違いない。



### ストレスが心身に影響する

京都大学教授であるカール・ベッカー先生は、日野原重明編著「memento mori死をみつめ、今を大切に生きる」の中で、次のような指摘をしています。

「人間のからだは基本的にサルと同じである。サルが敵などに遭遇し危険を察知したときに起こる反応は次のようである。胃酸が増え、脳からはストレスホルモン、アドレナリン、コルチゾールといった、運動を促進するホルモンがたくさん分泌される。そして血液は脂肪酸でいっぱいになり、さらさらだった血液が一気にどろどろになる。サルはこのような場面では、ファイト オア フライト(fight or flight)、戦うか逃げるかどちらかの選択をする。その運動によって胃酸が減り、ストレスホルモンが消化され、また血液がさらさらに戻る。さて、我々はどうだろうか。仕事に行くバスに間に合わなかつた。「あっ！しまった！」。危険信号が発令し、サルの場合と同様、胃酸が増え、脂肪酸が増え、血液はどろどろになる。けれどもそこで

人間は運動しないのです。上司に携帯電話する。「すみません、遅れます」。本来ならば、サルのように、上司に対して戦うか逃げるかなのですが、気持ちはあってもそれはできません。「申し訳ありません、これから気をつけます」…。」

( )内編注記

サルのお話がでたところでもう一つ。「セカンド ブレイン」の著者で、コロンビア大学医学部解剖・細胞生物学学科長のマイケル・D・ガーション先生が、「動物実験の中でも群を抜いている」と触れ込む、いわゆる「お目付け役ザル」の実験を同書の中から紹介しよう。

「2匹のサルを実験用イスに座らせる。その位置からサルたちはお互いに見ることができ、対話も可能だ。1匹目のサルはレバーに手が届く。このレバーを上手に使えば、もう1匹のサルを電気ショックから救ってやることができる。電気ショックは「不快に思う」という程度の強さで、はつきりとした痛みや苦痛を感じるほどではない。いずれにせよ、レバーを操作できるほうのサルは電気ショックを感じることはない。この実験はサルに不安感を与えるために考案された実験で、実にうまくいった。片方のサルの腸管には潰瘍ができたのである。しかし潰瘍ができたのは、予想に反して電気ショックを受けるほうのサルではなく、レバーをもたされたサルだったのだ。このサルは仲間を電気ショックから救うという望まざる責任を押し付けられたために、潰瘍をこしらえてしまったのだ。」

段々分かつてきただかもしれない。ストレスを解消しないと体までも病むのだし、そのストレス感情は身近な人までも病気に陥らせるのだ。

米科学誌サイエンス(2008.12.12)で発表のあったゾウの寿命に関するデータ。動物園で飼育下にあるゾウの寿命は、野生のゾウよりもはるかに短いとの比較研究結果を、英国とカナダなどの研究チームが突き止めた。アフリカゾウの年齢の中央値は、欧州の動物園で16.9歳と、アンボセリ国立公園で自然死したゾウの56歳、自然死ではなく人間に殺されたゾウの35.9歳を、はるかに下回っていた。アジアゾウについても同様の傾向が見られ、欧州の動物園では年齢中央値が18.9歳で、ミャンマーではたらくゾウの41.7歳より、大差で短かった。メイソン教授によると、寿命の差が大きい理由として、野生であれば十分に広い場所で暮らしているゾウが、動物園では限られた狭い範囲でしか生活できること、野生下では通常、8~12頭の群れで暮らしているが、動物園では1頭、多くても数頭でしか生活していない点を指摘している。安全と食料が確保されていているだけではダメなのだ。

## 共通する思い

「人間がどれだけ利己的であるとしても、人間本性のなかには、あきらかに利己性とは性格を別にするいくつかの原理があり、また人間はそれを必要としている。それは同情(コンパッション)すること、つまり他の人の悲惨を見たり、他の人のさまが自分の心に、たいへんいきいきと描かれるときの情動(エモーション)である。…時として不運なことがあっても、その悲しみを伝える人物がみつかれば、人間はほっとする。」

(アダム・スミス「道徳感情論」より一部意訳)

「その悲しみを伝える人物がみつかれば、人間はほっとする」…人間界でよかった。マイナス感情も共有することで「ほっと」できる。先ほどのサルの話のように片方にしか分からぬ感情や、囲われた動物園の堀の中のゾウのことを思うと…。



近世以前の身体感の中には、人間のからだにはトランスペーソナル(超自己)な存在を意識していた。見えないからだと意識が人体の周囲に積層しているというのだ。正しいかどうかはわからないが、古神道でいえば次のような見えない身体感を持つ。

荒魂・荒御魂 (あらたま、あらみたま)

奇魂・奇御魂 (くしたま、くしみたま)

幸魂・幸御魂 (さきたま、さきみたま)

和魂・和御魂 (にきたま、にきみたま)

また、神智学では物質的身体の周りには、目には見えない4種のエネルギー体が存在するのだという。



## 心はどこにあるのか

「科学は普遍性・再現性を求めるが、心は普遍でもないし再現性ももたない」(茂木健一郎:脳科学)

科学は、今日起ったことは同条件にすれば明日も起る、ここで起ったことは同条件を満たせば他の地域でも起るというのが原則です。

しかし、心はいつまでも同じでないし、全く同じように再現することも出来ない。例えば生前は敵対しいがみ合つた人でも、5年も過ぎれば「少しあはいところもあった」になり、10年も過ぎれば「やつがいてくれたので良かった」というふうになりやすいのが人間だろう。つまり、記憶≠心ではないのだ。

では心はどこにどのようにあり、それは先天的に用意されているものなのだろうか？



遺伝子の2重螺旋構造を解明して、ノーベル医学・物理学賞をとったフランシス・クリックは、著書「DNAに魂はあるか」の中で、「脳の振る舞いはすべて、ニューロンの活動によっていると考える。したがって、複雑な視覚プロセスの各段階をニューロンによって説明していくながら、それでいて、見るという行動のある部分は「私」が自然にしていることだから説明はいらない、というのは私の立場ではない。」といふ。私たちが物を見るという行動において、それは脳内のニューロンの活動で説明ができ、随伴する例えは感情も合わせて説明できるというのだ。だから、「魂」などという根拠のないものは遺伝子DNAには存在しないと結論づけている。

このことを以前、解剖学・脳科学者である養老孟司先生に聞いてみると、「あちらの人はそういうことを考えるのが好きなんだよ！」という返事でした。脳の構造を機械的に分析することと、心の存在を同列で説明できないということでしょうか。

実際に生きている患者さんの脳を自分の手で詳細に調べた医師がいる。カナダの精神外科医であるワイルダー・ペンフィールド氏その人である。



FIGURE 1. Case #40  
The patient is lying in the operating table. A lead electrode was firmly attached to the scalp, and the muscle had been transected by resection on the skin. See Bibliography.<sup>2</sup>

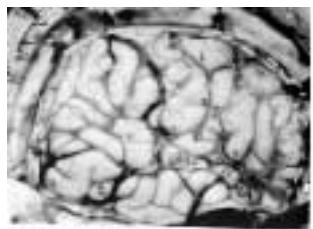


FIGURE 1. Case #40  
Right hemisphere opened. The numbered slices show points where there were incisions at the surgeon's discretion.

ペンフィールド氏はてんかん患者の治療の一環として開頭手術をし、脳に電極を埋め込み詳細に調べたのだった。ちなみに今なら倫理上絶対できない手術だと思われる。

それで結論は次の通り。「人間の心は脳で説明できるだろうか？…長年にわたる人間の脳の研究の結果から、私の答えは、「ノー」である。心は、その活動を最高位の脳機構に依存してはいるが、独自のエネルギーを有する。それは神経線維を伝わる電気的なエネルギーとは異なった形のエネルギーである。…私の知るかぎり、心の働きはいかなる神経機構によつても説明できないのである。」(写真、文ともに「脳と心の正体」ワイルダー・ペンフィールド著より引用)

これまでを少しまとめてみよう。

- 動物でも感情はある。
- 不自然な環境では人間だけでなく動物もストレスが溜まり、病気や寿命にも影響する。
- 人間は感情を共有できる。
- 体外に見えないからだを持つ身体感が伝統的に各地で存在していた。
- 脳の振る舞いについては電気的信号として説明ができる。
- しかし、心の働きは神経機構によつても説明できないし、その活動には独自のエネルギー関与の可能性がある。

心はどこにあるのだろうか？探して見つかるというものではなさそうだ。先人達が見えないからだを意識してきたように、心も外部との繋がり、形ではないコミュニケーションの中に存在するのかもしれない。それは心が自力によって進化するのではなく、進化させられる心として…。古代ギリシャのアリストテレスも二元論のデカルトも心の形にまでは触れていない。コミュニケーションによって変わりゆく心があるとすれば、そのエネルギー源もやはりコミュニケーションの中にあるのではないか。

最近、食料品を買出しに出かけた家内に「今夜は鍋がいい」と感じるだけで材料を買ってくる日が多くなった。この前こんなことがあった。予想通り魚すきだ！「牡蠣は買ってきた？」と言うと、「ちゃんとメールしてよ！」と叱られた。私の心はまだ進化が足りないようだ。

今回紹介したワイルダー・ペンフィールド博士の「脳と心の正体」。原題は「The mystery of the mind」。ペンフィールド博士といえば大脳皮質の対応面積と体の部位の大きさを対応させたホムンクルスの絵と大脳皮質における体の部位の対応を示した脳地図で有名である。

1975年刊のこの原著を図書館で探して調べてみた。もちろん英語版なのだが、日本語の訳書はない新鮮さがあった。ふと裏表紙を見ると何やら書評が書いてある。専門用語が並ぶので何が書いてあるのかよく分からぬ。しかし書評を書いた人のサインだけは読み取れる。

—アンドルー・ワイルーと書いてある。

34年も前、しかもかの有名なペンフィールド博士の本に、統合医療の第一人者であるワイル博士が書評を書く…どうなっているのか！また違った意味で新鮮だった。



"An interesting and important document. I once heard a Hindu yogi tell a group of Western scientists that 'all of the brain is concerned with the mind, but not all of the mind is in the brain.' To hear a Western neurosurgeon say something similar is most remarkable."

—Andrew Weil, The New York Times Book Review

★2009年2月22日(日)に名古屋市東区のウィルあいち(Tel 052-962-2511)でイベント「夢はかなう—“どうせ無理”じゃない！」が開催される。講師には2005年、青年版国民栄誉賞「人間力大賞グランプリ」を受賞し、翌年人工衛星「HITSAT(ヒットサット)」打ち上げ成功、カムイ式ロケットで宇宙を目指す、株植松電機専務取締役・株カムイスペースワークス代表取締役の植松努氏をお招きする。氏の大成功の秘訣と「夢は実現する」というストーリーを語っていただきます。パネルディスカッションでは子どもたちが社会への参画の仕方を探り、またソーシャル・ニュー・コミュニケーターとして活躍される方たちに、成功のヒントとこれからのビジョンを討論いただきます。—やれば出来る！できる理由を考える！

マザリーアースプロジェクト2009春準備フォーラム『私たちの子どもたちへ…』

# 夢はかなう “どうせ無理”じゃない！

子供たちがやりたい！と思うことを、大人の  
“どうせ無理”。の一言で、子供たちの想いを  
おおはしていけない夢をあきらめずに生きて  
ゆけろ！そんな社会になら、やがてやがて！】

第一部 演説 14:00~15:30

講師 植松 努  
株植松電機専務取締役  
株カムイスペースワークス  
代表取締役

第二部 パネルディスカッション 15:40~16:40

テーマ 第一回「夢へ」  
HITSAT実現の秘訣  
アスカネット代表 水野 浩司  
アスカネットラボス代表 矢野 哲  
アスカネットラボス代表 伊藤 麻衣  
アスカネットラボス代表 佐藤 駿介  
アスカネットラボス代表 佐藤 裕

第三部 パネルディスカッション 16:40~17:30

テーマ 第二回「夢へ」  
HITSAT実現の秘訣  
アスカネット代表 水野 浩司  
アスカネットラボス代表 矢野 哲  
アスカネットラボス代表 伊藤 麻衣  
アスカネットラボス代表 佐藤 駿介  
アスカネットラボス代表 佐藤 裕

2009年カムイワットの世界遺産のついで、名古屋市立大学附属小学校にて、カムイワットロケットの打ち上げをする会議を開くことになりました。そのことの発表をしてから子どもたちがベースキャンプを設営する。2008年11月22日(土)午後1時より、2008年11月23日(日)午前10時より、2008年11月24日(月)午後1時より、2008年11月25日(火)午後1時より、2008年11月26日(水)午後1時より、2008年11月27日(木)午後1時より、2008年11月28日(金)午後1時より、2008年11月29日(土)午後1時より、2008年11月30日(日)午後1時より、2008年11月31日(月)午後1時より、2008年12月1日(火)午後1時より、2008年12月2日(水)午後1時より、2008年12月3日(木)午後1時より、2008年12月4日(金)午後1時より、2008年12月5日(土)午後1時より、2008年12月6日(日)午後1時より、2008年12月7日(月)午後1時より、2008年12月8日(火)午後1時より、2008年12月9日(水)午後1時より、2008年12月10日(木)午後1時より、2008年12月11日(金)午後1時より、2008年12月12日(土)午後1時より、2008年12月13日(日)午後1時より、2008年12月14日(月)午後1時より、2008年12月15日(火)午後1時より、2008年12月16日(水)午後1時より、2008年12月17日(木)午後1時より、2008年12月18日(金)午後1時より、2008年12月19日(土)午後1時より、2008年12月20日(日)午後1時より、2008年12月21日(月)午後1時より、2008年12月22日(火)午後1時より、2008年12月23日(水)午後1時より、2008年12月24日(木)午後1時より、2008年12月25日(金)午後1時より、2008年12月26日(土)午後1時より、2008年12月27日(日)午後1時より、2008年12月28日(月)午後1時より、2008年12月29日(火)午後1時より、2008年12月30日(水)午後1時より、2008年12月31日(木)午後1時より、2008年12月32日(金)午後1時より、2008年12月33日(土)午後1時より、2008年12月34日(日)午後1時より、2008年12月35日(月)午後1時より、2008年12月36日(火)午後1時より、2008年12月37日(水)午後1時より、2008年12月38日(木)午後1時より、2008年12月39日(金)午後1時より、2008年12月40日(土)午後1時より、2008年12月41日(日)午後1時より、2008年12月42日(月)午後1時より、2008年12月43日(火)午後1時より、2008年12月44日(水)午後1時より、2008年12月45日(木)午後1時より、2008年12月46日(金)午後1時より、2008年12月47日(土)午後1時より、2008年12月48日(日)午後1時より、2008年12月49日(月)午後1時より、2008年12月50日(火)午後1時より、2008年12月51日(水)午後1時より、2008年12月52日(木)午後1時より、2008年12月53日(金)午後1時より、2008年12月54日(土)午後1時より、2008年12月55日(日)午後1時より、2008年12月56日(月)午後1時より、2008年12月57日(火)午後1時より、2008年12月58日(水)午後1時より、2008年12月59日(木)午後1時より、2008年12月60日(金)午後1時より、2008年12月61日(土)午後1時より、2008年12月62日(日)午後1時より、2008年12月63日(月)午後1時より、2008年12月64日(火)午後1時より、2008年12月65日(水)午後1時より、2008年12月66日(木)午後1時より、2008年12月67日(金)午後1時より、2008年12月68日(土)午後1時より、2008年12月69日(日)午後1時より、2008年12月70日(月)午後1時より、2008年12月71日(火)午後1時より、2008年12月72日(水)午後1時より、2008年12月73日(木)午後1時より、2008年12月74日(金)午後1時より、2008年12月75日(土)午後1時より、2008年12月76日(日)午後1時より、2008年12月77日(月)午後1時より、2008年12月78日(火)午後1時より、2008年12月79日(水)午後1時より、2008年12月80日(木)午後1時より、2008年12月81日(金)午後1時より、2008年12月82日(土)午後1時より、2008年12月83日(日)午後1時より、2008年12月84日(月)午後1時より、2008年12月85日(火)午後1時より、2008年12月86日(水)午後1時より、2008年12月87日(木)午後1時より、2008年12月88日(金)午後1時より、2008年12月89日(土)午後1時より、2008年12月90日(日)午後1時より、2008年12月91日(月)午後1時より、2008年12月92日(火)午後1時より、2008年12月93日(水)午後1時より、2008年12月94日(木)午後1時より、2008年12月95日(金)午後1時より、2008年12月96日(土)午後1時より、2008年12月97日(日)午後1時より、2008年12月98日(月)午後1時より、2008年12月99日(火)午後1時より、2008年12月100日(水)午後1時より、2008年12月101日(木)午後1時より、2008年12月102日(金)午後1時より、2008年12月103日(土)午後1時より、2008年12月104日(日)午後1時より、2008年12月105日(月)午後1時より、2008年12月106日(火)午後1時より、2008年12月107日(水)午後1時より、2008年12月108日(木)午後1時より、2008年12月109日(金)午後1時より、2008年12月110日(土)午後1時より、2008年12月111日(日)午後1時より、2008年12月112日(月)午後1時より、2008年12月113日(火)午後1時より、2008年12月114日(水)午後1時より、2008年12月115日(木)午後1時より、2008年12月116日(金)午後1時より、2008年12月117日(土)午後1時より、2008年12月118日(日)午後1時より、2008年12月119日(月)午後1時より、2008年12月120日(火)午後1時より、2008年12月121日(水)午後1時より、2008年12月122日(木)午後1時より、2008年12月123日(金)午後1時より、2008年12月124日(土)午後1時より、2008年12月125日(日)午後1時より、2008年12月126日(月)午後1時より、2008年12月127日(火)午後1時より、2008年12月128日(水)午後1時より、2008年12月129日(木)午後1時より、2008年12月130日(金)午後1時より、2008年12月131日(土)午後1時より、2008年12月132日(日)午後1時より、2008年12月133日(月)午後1時より、2008年12月134日(火)午後1時より、2008年12月135日(水)午後1時より、2008年12月136日(木)午後1時より、2008年12月137日(金)午後1時より、2008年12月138日(土)午後1時より、2008年12月139日(日)午後1時より、2008年12月140日(月)午後1時より、2008年12月141日(火)午後1時より、2008年12月142日(水)午後1時より、2008年12月143日(木)午後1時より、2008年12月144日(金)午後1時より、2008年12月145日(土)午後1時より、2008年12月146日(日)午後1時より、2008年12月147日(月)午後1時より、2008年12月148日(火)午後1時より、2008年12月149日(水)午後1時より、2008年12月150日(木)午後1時より、2008年12月151日(金)午後1時より、2008年12月152日(土)午後1時より、2008年12月153日(日)午後1時より、2008年12月154日(月)午後1時より、2008年12月155日(火)午後1時より、2008年12月156日(水)午後1時より、2008年12月157日(木)午後1時より、2008年12月158日(金)午後1時より、2008年12月159日(土)午後1時より、2008年12月160日(日)午後1時より、2008年12月161日(月)午後1時より、2008年12月162日(火)午後1時より、2008年12月163日(水)午後1時より、2008年12月164日(木)午後1時より、2008年12月165日(金)午後1時より、2008年12月166日(土)午後1時より、2008年12月167日(日)午後1時より、2008年12月168日(月)午後1時より、2008年12月169日(火)午後1時より、2008年12月170日(水)午後1時より、2008年12月171日(木)午後1時より、2008年12月172日(金)午後1時より、2008年12月173日(土)午後1時より、2008年12月174日(日)午後1時より、2008年12月175日(月)午後1時より、2008年12月176日(火)午後1時より、2008年12月177日(水)午後1時より、2008年12月178日(木)午後1時より、2008年12月179日(金)午後1時より、2008年12月180日(土)午後1時より、2008年12月181日(日)午後1時より、2008年12月182日(月)午後1時より、2008年12月183日(火)午後1時より、2008年12月184日(水)午後1時より、2008年12月185日(木)午後1時より、2008年12月186日(金)午後1時より、2008年12月187日(土)午後1時より、2008年12月188日(日)午後1時より、2008年12月189日(月)午後1時より、2008年12月190日(火)午後1時より、2008年12月191日(水)午後1時より、2008年12月192日(木)午後1時より、2008年12月193日(金)午後1時より、2008年12月194日(土)午後1時より、2008年12月195日(日)午後1時より、2008年12月196日(月)午後1時より、2008年12月197日(火)午後1時より、2008年12月198日(水)午後1時より、2008年12月199日(木)午後1時より、2008年12月200日(金)午後1時より、2008年12月201日(土)午後1時より、2008年12月202日(日)午後1時より、2008年12月203日(月)午後1時より、2008年12月204日(火)午後1時より、2008年12月205日(水)午後1時より、2008年12月206日(木)午後1時より、2008年12月207日(金)午後1時より、2008年12月208日(土)午後1時より、2008年12月209日(日)午後1時より、2008年12月210日(月)午後1時より、2008年12月211日(火)午後1時より、2008年12月212日(水)午後1時より、2008年12月213日(木)午後1時より、2008年12月214日(金)午後1時より、2008年12月215日(土)午後1時より、2008年12月216日(日)午後1時より、2008年12月217日(月)午後1時より、2008年12月218日(火)午後1時より、2008年12月219日(水)午後1時より、2008年12月220日(木)午後1時より、2008年12月221日(金)午後1時より、2008年12月222日(土)午後1時より、2008年12月223日(日)午後1時より、2008年12月224日(月)午後1時より、2008年12月225日(火)午後1時より、2008年12月226日(水)午後1時より、2008年12月227日(木)午後1時より、2008年12月228日(金)午後1時より、2008年12月229日(土)午後1時より、2008年12月230日(日)午後1時より、2008年12月231日(月)午後1時より、2008年12月232日(火)午後1時より、2008年12月233日(水)午後1時より、2008年12月234日(木)午後1時より、2008年12月235日(金)午後1時より、2008年12月236日(土)午後1時より、2008年12月237日(日)午後1時より、2008年12月238日(月)午後1時より、2008年12月239日(火)午後1時より、2008年12月240日(水)午後1時より、2008年12月241日(木)午後1時より、2008年12月242日(金)午後1時より、2008年12月243日(土)午後1時より、2008年12月244日(日)午後1時より、2008年12月245日(月)午後1時より、2008年12月246日(火)午後1時より、2008年12月247日(水)午後1時より、2008年12月248日(木)午後1時より、2008年12月249日(金)午後1時より、2008年12月250日(土)午後1時より、2008年12月251日(日)午後1時より、2008年12月252日(月)午後1時より、2008年12月253日(火)午後1時より、2008年12月254日(水)午後1時より、2008年12月255日(木)午後1時より、2008年12月256日(金)午後1時より、2008年12月257日(土)午後1時より、2008年12月258日(日)午後1時より、2008年12月259日(月)午後1時より、2008年12月260日(火)午後1時より、2008年12月261日(水)午後1時より、2008年12月262日(木)午後1時より、2008年12月263日(金)午後1時より、2008年12月264日(土)午後1時より、2008年12月265日(日)午後1時より、2008年12月266日(月)午後1時より、2008年12月267日(火)午後1時より、2008年12月268日(水)午後1時より、2008年12月269日(木)午後1時より、2008年12月270日(金)午後1時より、2008年12月271日(土)午後1時より、2008年12月272日(日)午後1時より、2008年12月273日(月)午後1時より、2008年12月274日(火)午後1時より、2008年12月275日(水)午後1時より、2008年12月276日(木)午後1時より、2008年12月277日(金)午後1時より、2008年12月278日(土)午後1時より、2008年12月279日(日)午後1時より、2008年12月280日(月)午後1時より、2008年12月281日(火)午後1時より、2008年12月282日(水)午後1時より、2008年12月283日(木)午後1時より、2008年12月284日(金)午後1時より、2008年12月285日(土)午後1時より、2008年12月286日(日)午後1時より、2008年12月287日(月)午後1時より、2008年12月288日(火)午後1時より、2008年12月289日(水)午後1時より、2008年12月290日(木)午後1時より、2008年12月291日(金)午後1時より、2008年12月292日(土)午後1時より、2008年12月293日(日)午後1時より、2008年12月294日(月)午後1時より、2008年12月295日(火)午後1時より、2008年12月296日(水)午後1時より、2008年12月297日(木)午後1時より、2008年12月298日(金)午後1時より、2008年12月299日(土)午後1時より、2008年12月300日(日)午後1時より、2008年12月301日(月)午後1時より、2008年12月302日(火)午後1時より、2008年12月303日(水)午後1時より、2008年12月304日(木)午後1時より、2008年12月305日(金)午後1時より、2008年12月306日(土)午後1時より、2008年12月307日(日)午後1時より、2008年12月308日(月)午後1時より、2008年12月309日(火)午後1時より、2008年12月310日(水)午後1時より、2008年12月311日(木)午後1時より、2008年12月312日(金)午後1時より、2008年12月313日(土)午後1時より、2008年12月314日(日)午後1時より、2008年12月315日(月)午後1時より、2008年12月316日(火)午後1時より、2008年12月317日(水)午後1時より、2008年12月318日(木)午後1時より、2008年12月319日(金)午後1時より、2008年12月320日(土)午後1時より、2008年12月321日(日)午後1時より、2008年12月322日(月)午後1時より、2008年12月323日(火)午後1時より、2008年12月324日(水)午後1時より、2008年12月325日(木)午後1時より、2008年12月326日(金)午後1時より、2008年12月327日(土)午後1時より、2008年12月328日(日)午後1時より、2008年12月329日(月)午後1時より、2008年12月330日(火)午後1時より、2008年12月331日(水)午後1時より、2008年12月332日(木)午後1時より、2008年12月333日(金)午後1時より、2008年12月334日(土)午後1時より、2008年12月335日(日)午後1時より、2008年12月336日(月)午後1時より、2008年12月337日(火)午後1時より、2008年12月338日(水)午後1時より、2008年12月339日(木)午後1時より、2008年12月340日(金)午後1時より、2008年12月341日(土)午後1時より、2008年12月342日(日)午後1時より、2008年12月343日(月)午後1時より、2008年12月344日(火)午後1時より、2008年12月345日(水)午後1時より、2008年12月346日(木)午後1時より、2008年12月347日(金)午後1時より、2008年12月348日(土)午後1時より、2008年12月349日(日)午後1時より、2008年12月350日(月)午後1時より、2008年12月351日(火)午後1時より、2008年12月352日(水)午後1時より、2008年12月353日(木)午後1時より、2008年12月354日(金)午後1時より、2008年12月355日(土)午後1時より、2008年12月356日(日)午後1時より、2008年12月357日(月)午後1時より、2008年12月358日(火)午後1時より、2008年12月359日(水)午後1時より、2008年12月360日(木)午後1時より、2008年12月361日(金)午後1時より、2008年12月362日(土)午後1時より、2008年12月363日(日)午後1時より、2008年12月364日(月)午後1時より、2008年12月365日(火)午後1時より、2008年12月366日(水)午後1時より、2008年12月367日(木)午後1時より、2008年12月368日(金)午後1時より、2008年12月369日(土)午後1時より、2008年12月370日(日)午後1時より、2008年12月371日(月)午後1時より、2008年12月372日(火)午後1時より、2008年12月373日(水)午後1時より、2008年12月374日(木)午後1時より、2008年12月375日(金)午後1時より、2008年12月376日(土)午後1時より、2008年12月377日(日)午後1時より、2008年12月378日(月)午後1時より、2008年12月379日(火)午後1時より、2008年12月380日(水)午後1時より、2008年12月381日(木)午後1時より、2008年12月382日(金)午後1時より、2008年12月383日(土)午後1時より、2008年12月384日(日)午後1時より、2008年12月385日(月)午後1時より、2008年12月386日(火)午後1時より、2008年12月387日(水)午後1時より、2008年12月388日(木)午後1時より、2008年12月389日(金)午後1時より、2008年12月390日(土)午後1時より、2008年12月391日(日)午後1時より、2008年12月392日(月)午後1時より、2008年12月393日(火)午後1時より、2008年12月394日(水)午後1時より、2008年12月395日(木)午後1時より、2008年12月396日(金)午後1時より、2008年12月397日(土)午後1時より、2008年12月398日(日)午後1時より、2008年12月399日(月)午後1時より、2008年12月400日(火)午後1時より、2008年12月401日(水)午後1時より、2008年12月402日(木)午後1時より、2008年12月403日(金)午後1時より、2008年12月404日(土)午後1時より、2008年12月405日(日)午後1時より、2008年12月406日(月)午後1時より、2008年12月407日(火)午後1時より、2008年12月408日(水)午後1時より、2008年12月409日(木)午後1時より、2008年12月410日(金)午後1時より、2008年12月411日(土)午後1時より、2008年12月412日(日)午後1時より、2008年12月413日(月)午後1時より、2008年12月414日(火)午後1時より、2008年12月415日(水)午後1時より、2008年12月416日(木)午後1時より、2008年12月417日(金)午後1時より、2008年12月418日(土)午後1時より、2008年12月419日(日)午後1時より、2008年12月420日(月)午後1時より、2008年12月421日(火)午後1時より、2008年12月422日(水)午後1時より、2008年12月423日(木)午後1時より、2008年12月424日(金)午後1時より、2008年12月425日(土)午後1時より、2008年12月426日(日)午後1時より、2008年12月427日(月)午後1時より、2008年12月428日(火)午後1時より、2008年12月429日(水)午後1時より、2008年12月430日(木)午後1時より、2008年12月431日(金)午後1時より、2008年12月432日(土)午後1時より、2008年12月433日(日)午後1時より、2008年12月434日(月)午後1時より、2008年12月435日(火)午後1時より、2008年12月436日(水)午後1時より、2008年12月437日(木)午後1時より、2008年12月438日(金)午後1時より、2008年12月439日(土)午後1時より、2008年12月440日(日)午後1時より、2008年12月441日(月)午後1時より、2008年12月442日(火)午後1時より、2008年12月443日(水)午後1時より、2008年12月444日(木)午後1時より、2008年12月445日(金)午後1時より、2008年12月446日(土)午後1時より、2008年12月447日(日)午後1時より、2008年12月448日(月)午後1時より、2008年12月449日(火)午後1時より、2008年12月450日(水)午後1時より、2008年12月451日(木)午後1時より、2008年12月452日(金)午後1時より、2008年12月453日(土)午後1時より、2008年12月454日(日)午後1時より、2008年12月455日(月)午後1時より、2008年12月456日(火)午後1時より、2008年12月457日(水)午後1時より、2008年12月458日(木)午後1時より、2008年12月459日(金)午後1時より、2008年12月460日(土)午後1時より、2008年12月461日(日)午後1時より、2008年12月4